

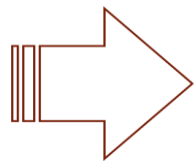
## アーバンデザインとは？

- 市街地だけでなく、周りも都市空間（アーバンスペース）は、市街地だけでなく、その周辺の田園や緑地も、都市空間を支える重要な構成要素です。
  - 今だけではなく、過去も未来も、そして人の活動もその空間には歴史があり、地域の課題があり、人々の活動があり、そして、未来への可能性が広がっています。
  - いろいろな未来を見据え、デザイン
- アーバンデザインとは、地域の歴史や現状を知り、また人々が互いを知り合い、未来のまちのイメージについてみんなで話し合い、色々な未来があることを共有します。そうして、未来を創造するための新たな活動を多く産みだし、人々のニーズにあった都市空間をデザインすることです。

## PlanからDesignへ

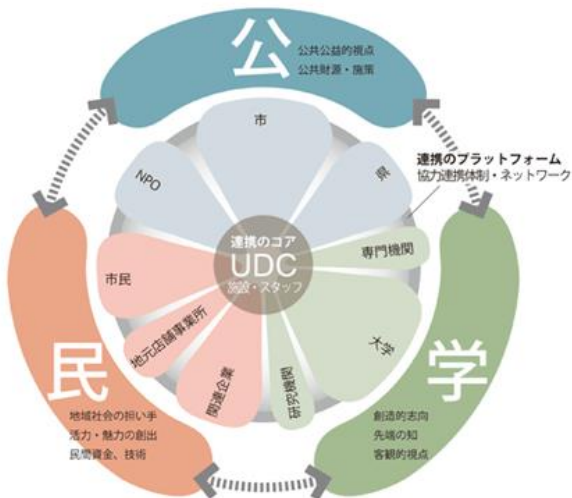
- 平面的で静止画的な都市計画から立体的で時空間を越えた動画的な都市計画へ

**プラン (Plan)**  
 “計画”という意味を表す最も一般的な語  
 図面、平面図、地図



**デザイン (design)**  
 語源は“計画を記号に表す”という意味のラテン語designare  
 デザインとは、ある問題を解決するために思考・概念の組み立てを行い、それを様々な媒体に応じて表現すること

## アーバンデザインセンター (UDC)



- UDCとは、複合化した地域の課題に対して、産学公民それぞれの立場で活動する様々な個人や組織が、様々な場面で臨機応変につながり、協働して解決に取り組むを進めるためのプラットフォームです。
- 専門家は、新たな技術や理論を積極的にまちに応用すると共に、長期的・客観的視点から見たコラボレーションの方向づけをする上で、重要な役割を担います。
- 産学公民の協働によって、様々な市民活動とともに、そして新たな活動の創出を図りながら、まちを創造する拠点となります。

## アーバンデザインを生み出す条件

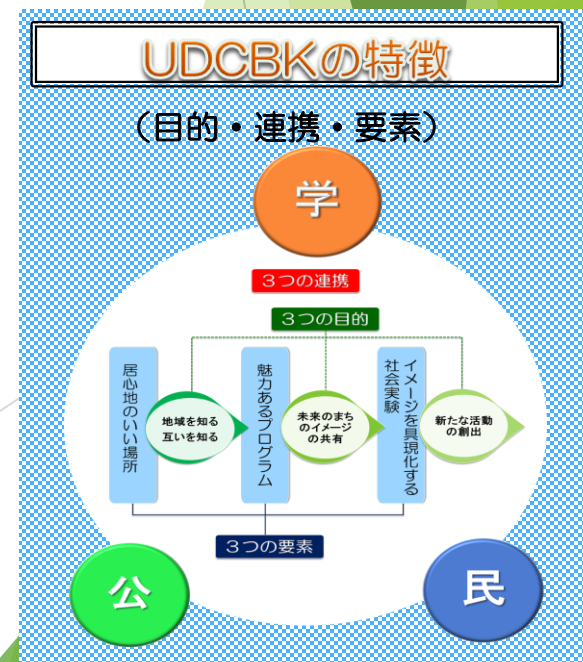
- その街に少しでも興味関心がある人であれば誰でもが気軽に自由に話し合える場所があること
- 地域の政策や課題について学習したい人、または自分の考えを伝えたい人が容易に出会い、学習する場所があること
- その街で生活を営んでいる住民が、街に愛着を持ち、共同体に属して生活していると実感できるさまざまな活動があること
- アーバンデザインを考えて、都市計画を行うことができる専門家がいること
- 専門家と市民を繋ぐ媒介の専門家と地域の専門家がいること

## UDCの3つの目的

- 地域を知り、お互いを知る**
  - 草津には、昔からずっと住んでいる人、就職や結婚、出産や進学、またはリタイヤ等を機に他から草津に移ってきた人、通勤・通学や社会活動などで草津に通う人などいろいろな人が集まっています。そのような人たちが草津をどのように思っているかを知り合い、その過程でお互いを知り合うための交流・学習の場を提供します。
- 未来のまちのイメージを共有する**
  - 草津に集ういろいろな人たちがそれぞれが考えている草津の未来のまちのイメージを語り合い、考え、そして理解しあうための場や情報などを提供します。
- 新たな活動を創出する**
  - それぞれの未来のイメージを実現するための活動を始めることを支援します。

## UDCの3つの要素

- 居心地のいい場所**
  - 人通りの多い目立つ場所の1階
  - カフェのような入りやすく、話しやすい雰囲気
  - ワークショップなどを気軽に行える機器類の整備
- 魅力あるプログラム**
  - 市民が本当に語りたい事柄や行いたい活動の支援
  - 市民とともに組み立て、UDCはサポート
- イメージを具現化する社会実験**
  - 多様な組織や個人の参画による公共的課題解決
  - 企業等専門的知識を持つ組織の参画
  - 近くに総合大学があり、積極的に参画



# UDCBKの実施プログラム

- 実施プログラムの基本的な考え方  
市民主役であることから、
- ・ 市民がやりたいこと、疑問に感じていることを実施
- ・ UDCBKは、会場及び機器類の提供、専門家等の紹介や招集、告知・参加者募集などのロジスティクスを支援

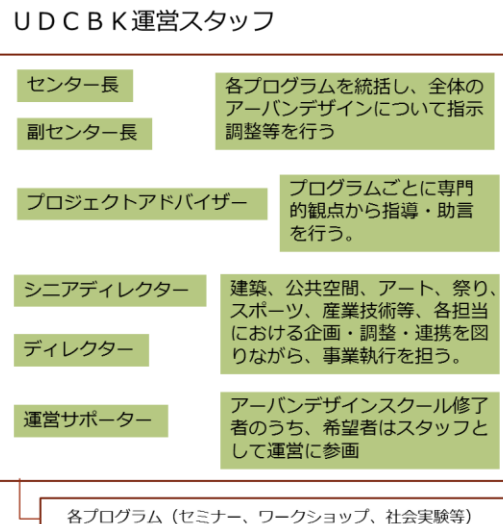
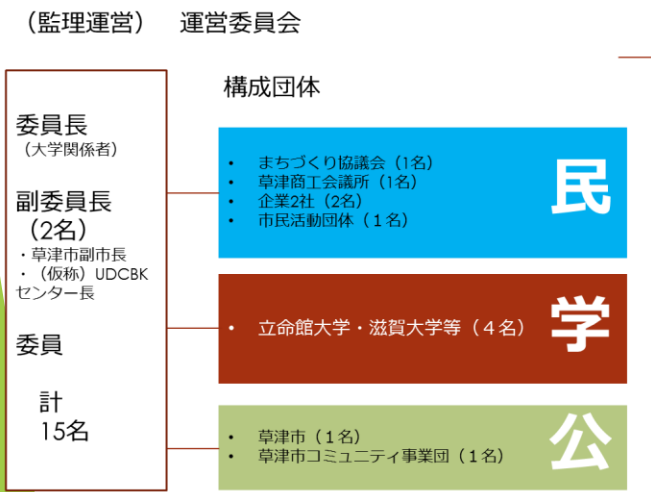
機能	内容
学習・交流	学習・交流の場の創出 公民学連携のきっかけづくり
調査研究	草津の未来のまちづくりに関する調査研究
社会実験	未来のイメージを具現化する社会実験の実施
情報発信	F M局やS N S等を活用した情報発信

# その他

- 日本語サロン（草津市国際交流協会）
- 公開ゼミ、市民向け講座等大学によるプログラム
- 企業の商品開発等の活用
- 市の各種施策との連携 等

# UDCBKの体制

- 運営委員会の役割
- ・ UDCBKの運営についての助言と評価
- UDCBK運営スタッフ
- ・ 拠点において実際の事業を執行する

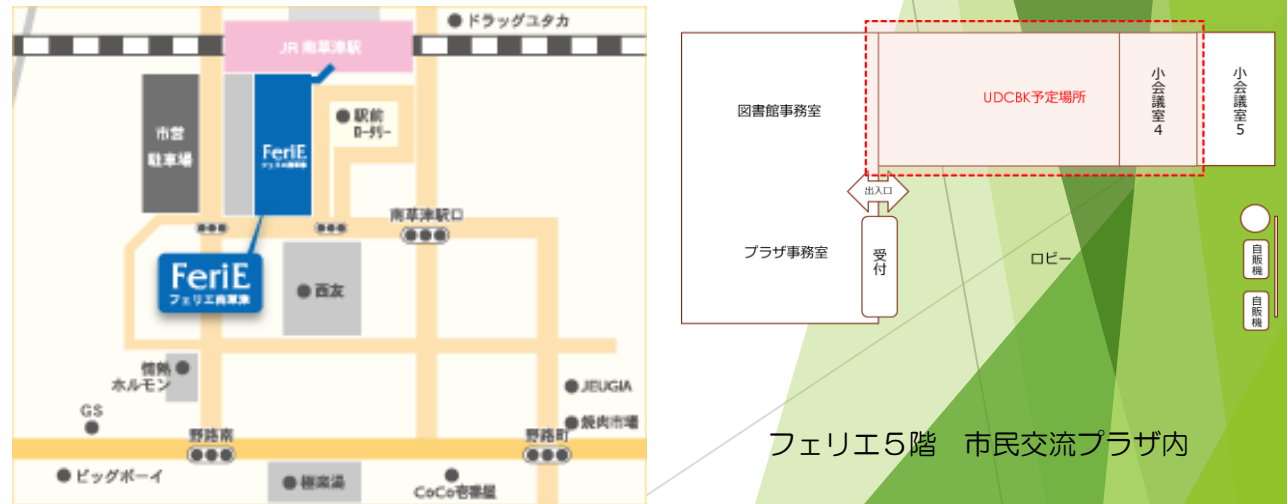


# UDCBKの効果

- 市民が気軽に立ち寄り、自由に話し合える場
- ・ 社会関係資本、文化資本の蓄積
- まちづくりに関する情報ステーション
- ・ オープンデータの拠点づくり
- 女性の活躍推進
- ・ 子育て世代がきやすい環境
- 美しい街並に対する意識
- ・ 大学のアーバンデザインの専門家の積極的関与
- 萌芽的まちづくり活動の創出によるまちづくりへの寄与
- ・ 社会実験による支援 等

# アーバンデザインセンターびわこネットワークの形成

平成28年10月15日 (土) 午前10時オープン!



【開室曜日・時間】 (案)

火・木・土 午前10時から午後6時45分

水・金 午前11時30分から午後8時15分

(日・月・祝 (祝日が月曜の場合は火曜日休室))